



文庫 八事山

2019・春

平成31年(2019)2月 年4回発行
発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

シンプル、スロー、スモール。



高野山真言宗
別格本山 八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

お寺のある暮らし

お寺ってどんなところかなと思いをたどってみるに、子供のころおばあちゃんに手を引かれてお彼岸参りにお寺を訪れた、お盆にご先祖の供養でお寺へお参りしたことがある、節分にお寺の本堂で厄払いのお護摩祈祷を受けた、大晦日の晩、寒さにかじかんだ手で除夜の鐘をついた、あるいは寺の境内でお稚児行列の行事に参加したことがある、など様々な思い出をお持ちの方も多いことでしょう。

お寺とは、

そのように思いおこしてみると、お寺が檀家さんとの寺檀関係だけで成り立っているわけではないことは自明でありましょう。思い出として記憶されたお寺は、もともと身近な懐かしい存在であったのではないのでしょうか。

八事山興正寺が開かれたのは、今から三百有余年も前、江戸時代の初期であります。五重塔が建てられたのは江戸中期の頃で現在は国の重要文化財に指定されています。爾来、名古屋の人々の心の拠り所として多くの信仰を集め今日に至っていることは皆さんご承知の通り

であります。お一人お一人の思い出の中に残されているように穏やかで心温まる場所、それがお寺なのでしょう。

私は、お寺には様々の空間があると考えています。

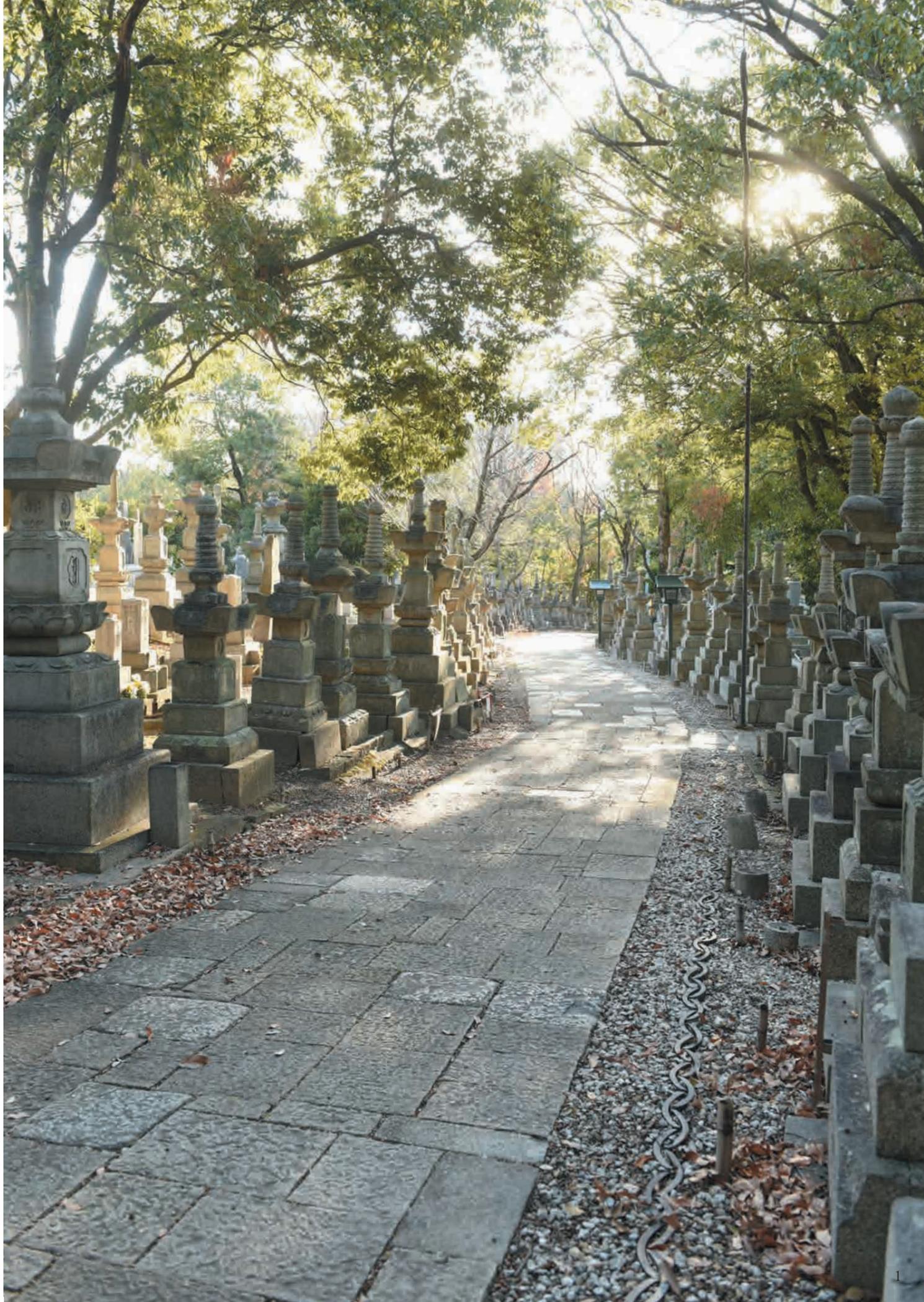
それは、霊域として神秘を感じ受け止められる空間であり、先祖との繋がりを感ぜられる空間であり、ほっと一息つける安らぎと温もりを感じられる空間であります。さらに地域の歴史・文化の発信と学びの場であり、人々との出会いの場所でもあるのです。

高度に発達した現代文明は、確かに利便性と物の豊かさをもたらしてくれましたが、反面現代社会は多くの困難な課題を抱え込んでいます。それは多く心の問題であり、目に見えない社会の深層に潜む尽きない欲望の問題であるともいえます。日本人が大切にしてきた簡素と簡潔の中に美を見出すスモールな生活観、慎ましさと合理性をバランスよく表現するシンプルな美意識、そして天地自然に対する畏敬の念を忘れないスローでスピリチュアルな感謝の心、など古人が残してくれた心の文化性がいまでも必要とされているのではないのでしょうか。

「お寺のある暮らし」は、現代人と現代社会が抱えるさまざまな課題に一筋の光明をもたらしてくれることでしょう。

住職 西部法照

岐阜にある法福寺の住職を継ぎ、1998年より渡米。15年に渡りシアトルにある高野山仏教会主任開教師、レドモンド郊外に開山したシアトル神護寺の住職を勤め引退。帰国後は、法福寺住職を引継ぎ地域活動などを行う。2018年6月に興正寺の主監に、9月より住職として就任。



十二月一日(土)

● 結婚式

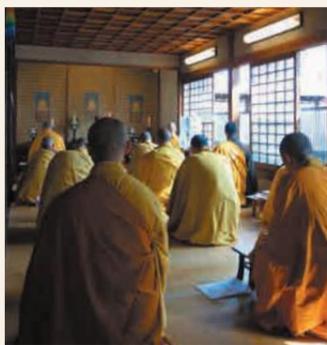
十二月二日(土)～十二月五日(水)

● 三千仏名会

さんぜんぶつのみようえ

● 五体投地礼を行う実践行

本年も、過去・現在・未来、各々千仏のお名前を唱えながら一佛ずつ五体投地礼を繰り返し行う懺悔札拝を行いました。この三千仏名会を今に至るまで行っている寺院は少なく、非常に厳粛な宗教行事で、五体投地礼を繰り返し行う肉体的負荷の大きな実践行です。皆様に参列いただく他の法会とは異なり、僧侶として研鑽に努める者が、新しい年を迎えるに当たり、一年間に犯した罪障を取り除く、大切な法会です。



十二月二日(日)

- 毎日文化センター慈善茶会
- ポーイスカウト
- 名古屋第一団活動

十二月五日(水)

- 中京大学茶道部練習

十二月七日(金)

- 中京大学茶道部練習

十二月八日(土)

- 戌の日 安産合同祈祷会
- 結婚式

十二月九日(日)

- 『山寺閑話』出版記念祝賀会
- 當山住職の自著『山寺閑話』出版記念祝賀会と併せ、住職就任のご挨拶を致しました。和やかな中にも、新しい息吹の芽生えを確かに感じさせる会となりました。『山寺閑話』は、自坊である岐阜法福寺の寺報「風だより」連載

十二月十五日(土)

● 結婚式

十二月十六日(日)

- 結婚式
- ポーイスカウト
- 名古屋第一団活動

十二月十七日(月)

- 戌の日 安産合同祈祷会

興正寺は古来より安産の名刹として参拝されており、戌の日には特別護摩祈祷を勤めております。大切な子を授かった身に感謝し、母体健康とお子さまが無事で健康に誕生するようにとご祈祷させていただきます。御礼参りは、御礼と共にお子さまがはじめて寺院と縁を持ちご挨拶をする「初寺参り」を勤めております。



過去の合同祈祷会の様子

● 除夜の鐘

一月一日(火)

● 修正会

旧年の過ちを正し吉祥を祈る毎年、元日の仏事として肅々と勤められている大切な勤めを、本年も変わらず厳修致しました。西山本堂にて修正会を勤め、その後、東山本堂で歴代住職へのご挨拶となる壇上参拝を致します。この勤めが終わり、はじめて「あけましておめでとうございます」と新年の幕開けとなります。



● 中京大学茶道部練習

十二月十九日(水)



調香師 沙里さんの聞香点前

● はつ雪茶会
茶会は、密やかな香りを愉しむことから始まりました。調香師の沙里さんによる椿をイメージした聞香の後、静かにお点前は進み、あつという間の夢のような時間は、まさに淡く消えるはつ雪のようでした。今年一年、様々なご縁をいただいた感謝をこめての竹翠亭でのお席。新しい年も訪れてくださる方の心に残る場であるようにとめてまいります。

十二月二十日(木)

- 戌の日 安産合同祈祷会

十二月二十一日(金)

- マルシェ茶席
- 中京大学茶道部練習

十二月二十二日(土)

- イーストライオンズクラブ餅つき大会
- プライダルフエア

十二月二十三日(日)

- 子ども寺子屋くらぶ『雪んこ茶会』

いつもは元気いっぱいの子どもたちが、お点前をするお姉さんを見つと見つめています。お茶の前にいたただくお菓子を運ぶのも子どもたち。今日は子どもだけの特別なお茶会です。あつという間に成長していく子どもたちに、日本の伝統や文化に触れて楽しみ、何か心に留めてもらえたら。そんな思いで重ねてきた子ども寺子屋くらぶ。とびきりの笑顔とキラ

エッセイと、以前の赴任先であるアメリカ「シ



アトル神護寺から日本の皆様へ」の発信などをまとめて、「心の豊かさを求めて、真の仕合せとは何か」をテーマに編集した新刊書です。書店はじめ、當山の納経所にてお求めいただけます。

● 結婚式

十二月十二日(水)

- 名古屋第一団活動

十二月十四日(金)

- 中京大学茶道部練習
- 名古屋第一団活動

- 中京大学茶道部練習

キラ輝く瞳が、何かを感じてくれたと思わせてくれる一日でした。



- ポーイスカウト
- 名古屋第一団活動

十二月三十一日(月)

● 第九コンサート

本年も五重塔前で約百二十名の合唱参加者による第九コンサートが熱演されました。凛と冷える夜空に響き渡る音色は格別です。『興正寺の年越ししは第九からはじまる』といわれるほど、年末の恒例となりました。本コンサートの日は、十一回目を迎えました。



体験を通して心の在り様を知る場として、

心の拠り所としてのお寺の役割を。

興正寺
ひと語り

僧侶 西山 海良 かいりょう

昭和58年生まれ。19歳まで在家(一般家庭)で育ってきたが、縁があつて修行の道へ。07年11月に當山へ。當山の講座では阿息観のほか、写経や毎月21日のマルシェ点前を担当。

お寺の1日は、僧侶が集まって行う朝のお勤めから始まります。その後は、作務と呼ばれるお掃除から、それぞれのお役目へと進んでまいります。私は竹翠亭ちくすいどうを担当しておりますので、阿息観あそくかん(瞑想)や写経、お茶のお点前などを行っております。

興正寺では、気軽にお茶を楽しんでいただくために、毎月21日の興正寺マルシェに行われる「マルシェ茶席」を始め、いくつかの行事を通して、お茶に親しんでいただいております。

実は、お茶とお寺とは深い関係があるのです。お茶を日本へ持ち帰ったのは、栄西えいせいというお坊さまで。お茶を飲む習慣を本に記したことでお茶文化が世の中に広がり、その後お抹茶へと進化していったのは、広く知れ渡るところです。お寺の中でお茶文化が大成していき、お茶室という独自の文化が生まれたのです。仏教の教えを主題として、そこに心のあるべき様をお茶の作法で作りに上げていったという訳です。

「マルシェ茶席」には、お茶に馴染みの無い方から、お茶会を楽しみにして見える方、若い方からご年配の方まで、多くの方

に楽しんでいただいております。中には、お茶席の後に「相談をされる方もお見えです。お茶を味わうことから始まり、そこから深く学ぶ方もいれば、お茶の楽しみを見つけた方も見えました。体験していただくことの大切さを実感いたしました。

そんな体験を早くから味わってもらおうと、「子供だけのお茶会」を開催いたしました。幼い頃にお茶会という楽しみを味わってもらうことでお寺を身近に感じ、成長した後、悩みなどを感じた時に、その身近さから心の拠り所として、いつも横に居てくれる、その人の心の安らぎの場所であれたらとの願いも込めて。

過去の講座では、「今ここに」をテーマに「ここにある心を今見る」という試みを行いました。自分は、過去にも未来にも居らず、今居るのはここだけということを手を動かすことで感じる体験です。心があつ



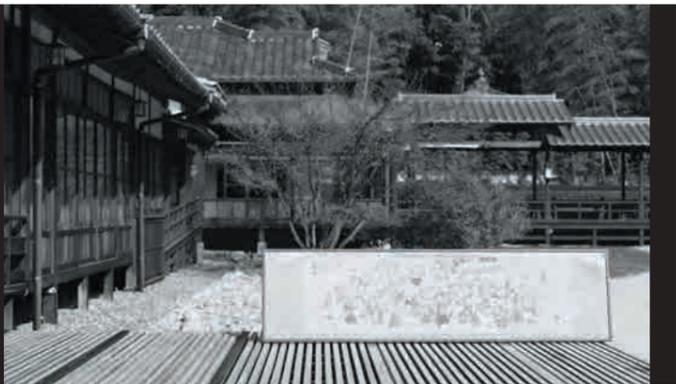
ちこつち(過去や未来)に行っていることをやめると心が落ち着き、今ここにある自分だけを見つめることの大切さを実感できるのです。心があつちこつちに行っている状態は、体で言うと運動量が多く疲労がたまっているのと同じことです。「今ここに」とは、動きを止めるということです。自ずと楽になります。そんな体験を手を動かさずに行うのが阿息観です。写経も通じるころは同じです。目に見える文字に表れる心の在り様から、あるがままの自分を確認すること

で、心の始末がついてくるといふことです。体験を通して感じていただけることを願っております。

これからも、体験いただくことで自分の心に気づける場として、また、拠り所として安心できる場としてのお寺の役割を担っていきたいと思っております。

過去や未来から心が離れると、
自ずと心は落ち着きを取り戻すのです。





興正寺で 出会う、 日本文化の おもしろみ。

興正寺のはじまりは、元禄元年。今から三百三十年ほど前。

當山を開かれた天瑞圓照和尚が、時の名古屋城主尾張徳川家二代藩主光友公と、この八事の地で出会い帰依を受け、律寺を建立したのがはじまりです。

尾張徳川家代々の無事、尾張の地の安穩を祈願する為、八事の境内に堂塔が建てられました。

時に、八事山の最も高い場所に安置された総本尊大日如来像は、光友公の御母堂様の冥福を祈るために像立された仏様で、どこことなく女性的な慈悲深いお顔をされています。光友公の希望により、雨にも風にも、火災にも負けない立派な仏様にとのことで、高さ三・六メートルの銅像にて鑄造、開眼されました。当時はそこから熱田の森や、名古屋の港が一望できたと云われています。

当時、興正寺は修行道場としての東山遍照院、一般の方も参拝できる西山普門院の二つに分かれており、西山の能満堂は、尾張徳川家六代藩主継友公の寄進により、尾張徳川家祈願修法所として建てられ、本尊虚空蔵菩薩(智慧の仏様)を開眼し、

魅力の カタチ KATACHI

百童之圖

「日本画」は新しい言葉

日本画とは日本の伝統絵画をさす言葉ですが、実は明治以降に入ってきた西洋の油彩画と区別するために生まれたものです。日本画と西洋画は画材の違いが基になっており、明治以前は、狩野派、円山・四条派、やまと絵といった作風の違いで分けられていました。国風文化が花開いた平安時代、武家が台頭した鎌倉から安土桃山時代、四百年にわたる泰平の江戸時代。時により流行は変わりましたが、伝統技法や材料が今日まで継承されているのは、それらが日本人の美意識に合致していたからでしょう。



ユーモアあふれる百童之圖

百童とは、百人の童子(子ども)のことです。画面にところ狭しと描かれた子どもたちの屈託のない笑い声が聞こえてきそうです。頭の左右にわずかに髪を残し他を剃るのは江戸時代の幼児に特徴的な髪形ですが、服装は唐風で、どうやら唐子のようです。机に書物を広げ学ぶ子、書を習う子、将棋に興ずる子らがいる一方、相撲や目隠し鬼、はては大人顔負けに闘鶏や鳥を鑑賞しさえずりを楽しんでいる姿も見られます。なんとも自由でウイットに富んだ作品です。

これを描いた大矢米年は愛知郡米野(現中村区)に生まれ、十二歳のときに奥村石蘭に師事して四条派の画を学んだ後、京都で花鳥画を研究しました。人物画、山水画を極め、景勝地におもむいては写生をして制作に努め一家をなしました。八事音聞山に住して後は洒脱豪放、ユーモアに富んだ作品を数多く描き、興正寺の七月詣や製茶の様子を描いた作品も残されています。

家門の安穩を祈念しました。

尾張徳川家七代藩主宗春公は晩年、隠居謹慎をうけましたが、唯一、興正寺への外出が認められ、西山阿弥陀堂(現 西山本堂)内の弘法大師坐像前の西壁に、釈迦説法図(唐絵)の大軸と、阿弥陀如来を中心にした極楽浄土の絵図である、彼岸曼荼羅(當麻曼荼羅)の2本の大きな軸を掛け、以前から交流があった當山五世 諦忍妙龍和尚に密教や阿弥陀浄土、釈尊の悟りの教えを受けて、宗春公は年下の諦忍和尚の説法に感動したと云われております。

又、今の地下鉄八事駅一番出口から西へ向かったホテルの隣に、黒門(東山門)があります。

この門は、名古屋城の出丸門が移築されたものと云われ、寺の門にしては少し様子が異なります。両脇は弓や槍が出せるようになっており、門より奥の道は蛇腹道といって、道がまっすぐになつていないため、進軍するに進みにくくなつていきます。又、高台の大日堂や五重塔は、見張場であり、飯田街道沿い南部方面から敵の攻撃に對しての防衛要塞としての備えもあつ

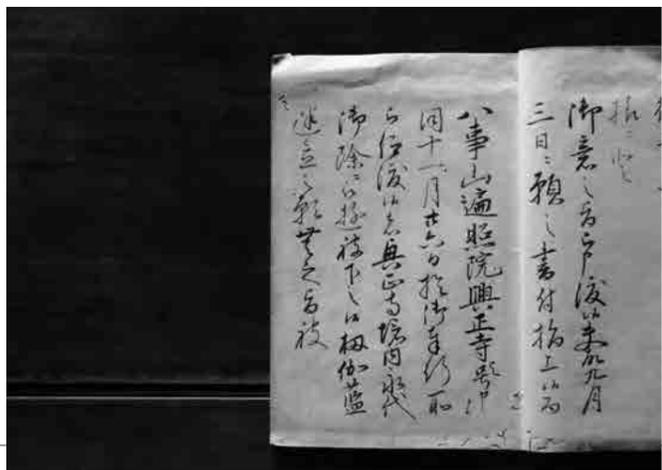
たとも云われています。

名古屋城や尾張徳川家と八事山興正寺との関係は、城防衛と尾張徳川家の安穩祈願の為でもあります。興正寺の大日如来や、西山本堂の阿弥陀如来は、建立当時より、尾張徳川家と尾張地方の人々の祈りを聞き入れ見守つてくださっております。この今、現在でも。

合掌

興正寺と徳川家

地域の歴史と八事山



茶の湯と暮らし



東洋において、お茶ほど特別の飲物はありません。美味しく体にも良いだけでなく、様々な文化さえ生み出してきました。中国原産の茶の木は古くから人々に見いだされ、唐の時代には美しい作法を伴って人の前でお茶を出す「茶の湯」が成立していたといえます（この当時は固めたお茶を削って煎じる「団茶」という飲み方）。茶葉のすべてを細かな粉にして飲んでしまう「お抹茶」は宋の時代の中国で生まれた飲み方ですが、本家の中国では歴史の中で失われてしまい、伝来された日本にのみ残った飲み方なのだから。

日本の「茶の湯」の大成者・千利休は、日本人に決定的な美意識の遺産を残しました。茶碗、茶杓をはじめとした茶道具。差し込む光や風まで計算されたお茶室。雪見障子や連子窓。簡素さのなかにあるもてなしの心や、「和敬清寂」と呼ばれる茶の心得は、ひそやかに、しかし確実に日本人の心の奥深くに根づいています。お寺のたたずまいのなかに、忘れかけた日本人の心を探してみてください。



「春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪さえてすずしかりけり」と詠んでおられます。これは日本の四季を端的に捉え、人々が心惹かれてきた自然を賞するとともに、それぞれが真の姿であることが悟りであると説いたものです。当たり前に巡りくる季節に、訪れてくださる方々とのひとときを大切に過ごすことをあらためて思い起こさせてくれる言葉ですが、一服のお茶をどうぞ。

ご縁をつなぐ場所へ

食 物 人 事

お仏飯

興正寺では、毎朝六時からお昼頃まで（修行僧の朝食、昼食の間）お仏飯を各所にお供えさせていただきます。

皆さんは「仏飯」つくりですか？ホカホカごはんをスプーンで一掬い。おちよこ一杯に、丁寧に取めます。

形が整ったならトン、トンと、ひっくり返して叩いてやる。先の平らな△。小さなお仏飯の出来上がりです。興正寺では、杉の木の形に似せた「杉盛」。



これを十六個。ごはんのとなりには温かいお茶が付きます。仏さまは湯気と香りを召し上がり、それから私たちは朝食をいただきます。



竹・翠・日・和

季節に寄り添う

暮れから正月にかけては賑やかに人々が集い、節分、立春と季節は瞬く間に移りかわっていきます。そんな慌ただしさがひと段落してほっとひと息つく頃、降りそそぐ陽ざしのあたたかさに春を感じるようになります。古来より日本人はそうした季節の移り変わりを身近に感じ愛でるだけでなく、農耕や牧畜、日々の生活と結び付け活用してきました。

昨今人気の俳句には季節を表す季語があり、耳にするたびに日本語の美しさや妙に驚かされます。例えば日の長短を、春の「日永」、夏の「短夜」、秋の「夜長」、冬の「短日」とあらわします。長短だけで考えれば、春は「日長」としても良いところですが、あえて「永」を用いることで長短だけではない長閑な心もちを含ませています。

暖かく穏やかな陽ざしに、冬の厳しさを耐えた命が一斉に芽吹く春。日毎に変わる自然の力強さに私たちの心も晴れやかになっていきます。草木萌え動く先には桜が花開くの今か今かと待っており、興正寺の境内に色彩があふれるのももうじきです。

曹洞宗を開かれた道元禪師は「本来の面目」と題し、「春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪さえてすずしかりけり」と詠んでおられます。これは日本の四季を端的に捉え、人々が心惹かれてきた自然を賞するとともに、それぞれが真の姿であることが悟りであると説いたものです。当たり前に巡りくる季節に、訪れてくださる方々とのひとときを大切に過ごすことをあらためて思い起こさせてくれる言葉ですが、一服のお茶をどうぞ。

春季彼岸会

三月十八日(月)―三月二十四日(日)

春季彼岸合同供養会

春のお彼岸合同供養を厳修致します。ご来寺、ご焼香賜りますよう御案内申しあげます。尚、當山でのご納骨有無に関わらず、どなたでもご供養させていただきます。当日は受付が混み合いますので、お振込みでの事前申込をお勧め致します。

遙拝供養

ご都合により合同供養会に参列できない皆様には、遙拝供養をお勧め致します。事前に「振込」にてお申込みください。ご供養させていただき、塔婆は當山にてお供えさせていただきます。

申込方法・締切

同封の申込書を記入、返信用封筒へ封入し當山まで郵送ください。供養料は郵便局より同封の振込用紙にてお振込みください。
締切／三月九日まで
「来寺」………同封の申込書に記入、供養料と共に持ちこってください。締切／当日まで
(塔婆準備の為お待ち致しますので、なるべく事前申込をご利用ください。)

人形仏具供養会

三月二十一日(木)

思い出がたくさんつまつた人形・仏具に感謝を込めてお別れを。

場所 光明殿二階
時間 九時～十三時

十三時より供養会を勧めますので、十三時までに受付を終了ください。

申込 当日受付
供養料 一口 三千元より

一口の目安

三辺の合計(縦×横×高さ)が100センチ以内の段ボール、もしくは、45リットル相当の袋に入る程度。(大きさが100センチを超える等の場合は、一口五千元以上の供養料となります)

◆供養品例

雛人形・五月人形・ぬいぐるみ・仏具・お守り・御札等。位牌・仏壇・仏像は



塔婆供養料

六尺(約一・八m)	三万円
五尺(約一・五m)	二万円
四尺(約一・二m)	一万円
二尺(約0・六m)	五千円

※一霊・先祖代々共に同供養料

時間・場所

各日/十時・十一時・十三時・十四時・十五時
場所/光明殿(大ホール)※ご納骨場所に関わらず

塔婆の功德

塔婆とは「卒塔婆」の略語でサンスクリット語のストウーパがルーツ。昔、釈迦が入滅後、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストウーパ)を建てて供養したのが始まりとされています。卒塔婆は、故人や先祖を供養する追善供養(生きている人が亡くなった人のために行う供養のこと)の目的で建てられます。追善の文字があらわすように、生きていく人が亡くなった人の代わりに、この世で行う最良の行為で、その功德はまた自分に返ってくると思われています。
當山の塔婆は、一本一本手書きでおつくりしております。



永代祠堂法会(招待制)

三月二十四日(日)

西山本堂奥に位置する浄域「靈牌殿・位牌殿」に永代経位牌をお祀りされた皆様の彼岸法会。

場所 西山本堂

申込 別途招待状を参照ください。

永代祠堂(永代経位牌)とは

納骨堂や墓地を有するご本人やご遺族からの申し出により、當山がこれを認められた方に親授される古来より続く永代に渡るご供養の形態です。

▼奉納はたもち

當山にて皆様に代わりご先祖様へのおもてなし、「はたもち」の奉納をさせていただきます。ひとりでも多くの親類縁者の皆様で力をあわせてお供え物をいたしましょう。
(お名前をあげさせていただきます。)



申込・締切

「振込」 同封の申込書を記入、返信用封筒へ封入し當山まで郵送ください。奉納料は同封の振込用紙にてお振込みください。
(当日に窓口でも受付致します。)
奉納料 一口 千円

お彼岸とは

〓お彼岸にお墓参りをするのはなぜ?〓

古来、農耕民族であった日本人にとって、収穫を左右する太陽は大切な信仰対象でした。春の種まきや秋の収穫期と相まって、万物自然への畏敬の念と日々の恵みへの感謝、そして、祖先を大切にしようとする人間本来の気持ちが育まれたのも当然のことでしょう。
仏教伝来の以前、古の日本人は自然信仰や祖先崇拜の祈りなど、太陽に少しでも近い、身近な山の頂や高台に登ってご先祖様に感謝と供物を捧げ、その年の豊作や無病息災を願いました。その風習が、今日のお墓参りへと繋がっています。これが後に、本格的な仏教思想の拡がりや結びつくことで、阿彌陀の極楽浄土は西の「彼岸」に、現世俗世は東の「此岸」にあるとされました。春分・秋分にこそ、あの世とこの世が最も近くなると信じられていくのです。
彼岸の墓参りは、こうしてご先祖様にお会いするための日本独自の文化風習となりました。

※左図の通り、広く一般に知られるお彼岸の由来は、主に浄土宗が説く考え方ですが、當山を始めとする真言宗寺院では、お墓参りの大切さを



重視しています。お彼岸中、當山に御縁のある皆様は「六種の供養」即ち「六波羅蜜」の考え方に基づく生活を実践し、ご先祖様のご供養に、ぜひ感謝の真心でお墓参りに御来寺くださいませ。

二月三日(日)

節分厄除祈禱会

豆をまいて厄を払う。

場所 西山本堂
時間 十時・十三時・十八時
申込締切 「来寺」当日まで(各回十分前より受付)
祈禱料 五千元(豆まき・福豆マス付)

星祭開運祈禱札

一年間、家でお祈りし、災いを引き受ける御札。御札は一体ずつ僧侶がおつくりします。(受渡し 二月五日より)

申込締切 「来寺」一月三十一日

「振込」一月二十日(昨年送付済)のご案内同封物にてお振込みください。

想耕茶会「福豆茶席」

福を招く、節分だけの特別煎茶席です。

場所 竹翠亭
時間 十時・十一時三十分・十三時
申込 要電話/定員あり
茶券 千円
※次回は、五月十日開催予定(要問合せ)

二月六日(水)

戌の日安産合同祈禱会

大切な子を授かった身に感謝し、母体の健康と胎児が無事で健康に誕生するように祈禱させていただきます。

場所 西山本堂
時間 十四時(四月七日、五月十三日 十五時)
申込締切 要(公式サイト)安産祈願ページより・前日まで)
祈禱料 五千元(御守・腹帯・命名用紙授与)

二月二十二日(木・祝)

興正寺マルシエ

マルシエから皆様にお届けしたいのは、商品だけではなく、思いやこだわりです。インターネットでは体験できない手ざわり、肌ざわり、舌ざわり... 青空の下、あなたの五感をいっぱいに使って「本物の良さ」を味わってください。(毎月二十一日)

時間 十時~十五時

月並御影供

開祖弘法大師空海が入定した三月二十一日に由来し、この日に厳修する法会を御影供といい、月ごとの御影供を月並御影供といいます。(毎月二十一日)

三月二十七日(水)

子ども寺子屋くらぶ 春

子ども寺子屋くらぶは、体験を通じて日本の伝統や文化を学び、子どもたちの豊かな感性が育まれることを願って開催しています。年4回、四季に合わせた内容で、春は桜がテーマ【桜が咲いたらー桜もちを作って野点ー】です。ご兄弟、お友だちも誘ってどうぞ。

講師 竹翠亭

場所 普門園 ※雨天時は室内
時間 十時~十二時
申込締切 要(電話/二月十五日より・定員あり)
支具料 子ども千円/付添五百円(呈茶付)

四月八日(月)

大日堂大祭 華曼茶羅会

胎蔵界曼荼羅の中心にある「中台八葉」を

三月三十日(土)

池口恵観大阿闍梨 大護摩供

この度、仏縁により前人未踏百萬枚護摩成満行者である、高野山伝燈大阿闍梨池口恵観大僧正による大護摩供を厳修致します。池口恵観大僧正が護摩を修される中、炎の中に祈願者自身で護摩木を投じることが出来ます。(特別護摩木/一願 千円)

場所 西山本堂
時間 十四時
申込 不要

マルシエ茶席

僧侶のお点前で楽しむ、お寺ならではの人気のお茶会です。美しいお点前で一服のお茶をいただく幸せを。(毎月二十一日)

場所 竹翠亭

時間 十時三十分~十三時(随時)
申込 不要(行事等で休みあり)
拝観料 五百円にて参加可

三月六日(水)

名古屋市自動車図書館巡回

場所 参道
時間 十四時~十六時

三月九日(土)

源をたどる布薩・一日修養会 ①

本年は「律寺としての興正寺 そのルーツをたどる旅」『和の伝統文化を学ぶ』として、仏教徒の定期的な修行「布薩」を現代日本よみがえらせます。午前中に供養と読経と座学、精進料理の昼食をはさみ、午後に瞑想をおこなうことで、暮らしのなかに仏教を取り入れてゆきます。

大日堂場に荘厳し、大日如来とご縁を深く結ぶ大祭。

場所 大日堂
時間 十二時三十分
申込 不要

四月十三日(土)

十三参りの日

旧暦三月十三日、数え年で十三歳に成長した男女が、大人への階段を上る節目として厄難を払い、知恵を授けていただくよう虚空蔵菩薩に参拝する行事です。弘法大師空海が飛躍的に記憶力を増大させたといわれる求聞持法に由来し、「智慧参り」「智慧もらい」とも呼ばれます。



場所 西山本堂
時間 十三時三十分(所要二時間)
申込 不要(参拝自由/無料)



① 回目内容

鑑真 日本に真実の仏教を弘めるために踊り 神に捧げる美しき喜び

場所 光明殿
時間 十時~十四時
申込締切 要(普照殿受付/各回三日前まで)
支具料 二千元(三宝講 千五百円)

◆三宝講

三宝講は仏教を学ぶだけでなく、より積極的に暮らしなかに取り入れ、仏教によって生き方を高めていただくことを願って命名いたしました。仏教のルールによって自己点検を行う機会が「布薩(ウボーサタ)」です。入講の講員証と記念品としてご自身で作る腕輪念珠をお渡しいたします。

三宝とは、「仏・法・僧」。仏教徒となる入門時に、この三つの宝を敬い、心よりどころとすることを誓うようにお釈迦様が定めておられます。また「篤く三宝を敬え」という聖徳太子の言葉とおり、わが国、日本の仏教の始まりから大切にされてきたことでもあります。

三月十四日(木)

開山忌



す。詳細は公式サイト「十三参り」ページをご確認ください。

場所 能満堂
時間 十時~十四時
申込締切 要(公式サイト)十三参りページより・定員あり)
祈禱料 五千元

四月二十日(土)

興正寺月釜

遠州流 丸山宗翠
場所 竹翠亭・耕雲亭
時間 十時~十五時(受付/九時より)
申込 竹翠亭まで
茶券 千五百円
(右記と興正寺担当席の二席)

源をたどる布薩・一日修養会 ②

② 回目内容
叡尊・覚盛 原点回帰、戒律の復興
歌 神仏の御心を伝えるわざ
詳細 三月九日同様

四月二十五日(土) 旧暦三月二十一日 御正当

旧暦三月二十一日に高野山・奥之院に御入定されたお大師さまに、日頃のお加護に報恩感謝し、お大師さまをご供養させていただく法会です。一年に一度大切な日です。



場所 西山本堂
時間 法話 十二時四十五分
法会 十三時
申込締切 不要
特別朱印 あり(限定百体/一休三百円)

◆御正當特別奉納写経
志納料 千円
法会中に供養致しますので、当日十二時三十分までに納経所にご持参ください。

◆お大師さまの布施行にちなみ、皆様からのお供えを賜っております。ご芳名を西山本堂内にあげさせていただきます。
奉加金 三千元より

四月二十八日(日)
団体参拝

〔奈良・河内いにしへの律寺と花を巡る旅〕
戒律のお寺・興正寺のルーツを探るべく、由緒ある律寺を巡ってその気風を学びま

す。日本に戒律を命がけて伝えた鑑真和尚のお寺・奈良の唐招提寺では、和上ゆかりの非常に珍しい花「瓊花」がちょうど見ごろをむかえます。そのほか、聖徳太子ゆかりの大阪・野中寺など、あまり知られていない素晴らしい律寺を巡ります。

場所 奈良 唐招提寺、大阪 野中寺ほか
時間 七時四十分 興正寺集合
申込締切 普照殿受付
支具料 一万千円(朱印代別 各三百円)
(四月十四日まで・定員あり)

五月五日(日)
大般若経転読祈禱会

正五九(一・五・九月)のみの特別祈禱会。大般若経とは玄奘三蔵法師が十七年かけてインドより持ち帰った、六百巻、文字数六十億四十万語におよぶ経典です。皆様の願いが御仏に届くよう、僧侶は声が枯れるまで、できる限りの力を振り絞り祈願致します。

場所 西山本堂
時間 十時三十分
申込締切 不要(参拝自由/無料)
祈禱料 千円(法会中にご芳名・願意の読み上げを致します。)

◆白米のお供えについて
大般若経転読祈禱会では、白米のお供えを受

け付けております。納経所にてお渡ししている「御仏餉袋」に入れてお持ちください。真心として志納いただきました白米の一部を、護摩祈禱で修される貴き「洗米」として仏さまのもとへお届けしております。(当日受付可)

和と輪と話

豊田マネージメント研究所(TMG)学習ほっこり療法®のお寺で楽しむ高齢者アクティビティ。

主催・問合せ先
株式会社豊田マネージメント研究所
ヘルスケア事業部
(電話) 052-842-2050

場所 普照殿〔華宮〕
時間 十時~十一時三十分
十三時~十四時三十分
申込 不要(先着五十名)
参加料 無料

五月十二日(日) 旧暦四月八日

花まつり

旧暦四月八日は生身の人間で初めて、悟りを開き仏となられたお釈迦様がこの世に誕生された尊い日です。



お釈迦様がお生まれになったルンビニ園に見立てた花御堂に、生まれてすぐのお姿のお釈迦様をお祀りし甘茶をかけてお参りいただきます。

場所 西山本堂
時間 法話 十二時四十五分
法会 十三時
申込 不要
特別朱印 あり(限定百体/一休三百円)

◆花ろうそく奉納
花の絵を描いたろうそくを奉納いただけます。奉納された方のご芳名をあげさせていただきます。
採色済み一休 千円

五月十三日(月)
同行永代経

場所 西山本堂
時間 十四時

五月二十日(月)―八月三日(土)

夏安居

仏教徒として戒律を守っているか否かを戒める夏安居を修行します。戒律のお経である『梵網経』をお唱えし懺悔と持戒の大切さを説いております。

場所 西山本堂
時間 九時(期間中毎朝)

申込締切 不要(随参希望の方は当日に納経所へお声がけください。)
特別朱印 あり(随参の方のみ)

五月二十九日(水)
いのちの修行一日体験①

いのちに向き合い、いのちを抱きしめ、いのちに還る。例年好評の日帰り修行体験。日常のすべてを忘れてお寺という空間で無心に過ごし、自分と向き合ってみませんか。いのちを見つめる法話や講義、また作務(境内の清掃)、瞑想をおこない、参加者同士の交流も図っていきます。

講師 榊田英伸(興正寺僧侶)
林直子(終活ライフプランナー)
場所 大書院、境内
時間 十時~十六時
申込締切 要(普照殿受付/五月二十六日まで)
定員 三十名(先着予約制)
持ち物 筆記用具・帽子・タオル・飲み物
(フタができる容器に限る)
支具料 三千五百円(精進弁当つき)

六月五日(水)・十三日(木)
不動護摩堂特別祈禱会

不動明王の靈験あらたかな護摩の炎に、當山で唯一、「ご自身の手で護摩木を奉ずることが出来る祈禱会です。

場所 不動護摩堂
時間 十時三十分~十二時
申込 要(納経所まで)
祈禱料 二千円
(護摩木・自戒念字入御影札授与)

六月十一日(火)―十四日(金)
夏の宝物展

年に2回、興正寺が所蔵する文物を展示し広く公開する宝物展を開催しています。今夏は「花鳥画、風景画」を中心とした掛軸をご覧いただけます。京で学び名古屋で活躍をした者、後進の育成に努めた者。それぞれの才覚をいかんなく発揮した絵師たちの作品を通して、時代の流れを感じてください。拝観料には抹茶と季節の和菓子も含まれますので、眼福・口福のひとつときをお過ごしください。

場所 大書院
時間 十時~十六時(十四日は十五時終了)
申込 不要
拝観料 五百円(普門園拝観料と併せ)

六月十五日(土)
興正寺月釜

松尾流 大島宗秀
場所 竹翠亭・耕雲亭
時間 十時~十五時(受付/九時より)
申込 竹翠亭まで

茶券 千五百円

(上記と興正寺担当席の二席)

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細はご予約は公式サイト内「まなびの講座」よりご確認ください。

◆葬儀について

家族葬から社葬・大型葬まで、一般的なセレモニーホールとは異なり緑豊かで三百年以上の時を刻む歴史ある地での葬儀は、より一層にお

御縁日「毎月」

◆五日 大随求明王〔露店あり〕

場所/西山本堂 時間/十時
▽干支成満巡り
集合/納経所前 時間/十時
支具料/無料(別途朱印代)

◆八日 大日如来

理趣分経祈禱。
場所/大日堂 時間/十二時三十分
◆十三日 虚空蔵菩薩〔露店あり〕

場所/西山本堂 時間/十時
▽干支成満巡り
集合/納経所前 時間/十時
支具料/無料(別途朱印代)

◆十五日 阿弥陀如来

善之綱おくり。
場所/東山奥之院 時間/十三時

◆十八日 観世音菩薩

場所/観音堂 時間/十三時
◆二十一日 弘法大師〔興正寺マルシェ〕

読経・法話。
場所/弘法堂 時間/十時三十分
▽月並御影供
場所/西山本堂 時間/十四時

◆二十四日 地藏菩薩

大数珠おくり、紙芝居。
場所/能満堂 時間/十三時
◆二十八日 不動明王

護摩祈禱・法話。
場所/不動護摩堂 時間/十四時

◆ 婚礼について
限定一日二組という貴重な場所で、仏前結婚式「縁結びの儀」を執り行い、おふたりがこの広い世の中で出逢い、結婚に至ったお互いの縁を大切にされた結婚式を執り行っています。前撮りも承ります。

◎ 境内施設利用について

ご希望の方は、お問合せください。倫理道德・近隣への配慮等、寺院施設である事をご理解い

ただける場合ご利用いただけます。また、小学校課外授業や企業研修等での法話、茶の湯体験や座禅体験なども、お気軽にご相談ください。

◎ 境内撮影利用について

プロカメラマン同行や大人数での撮影は、當山の許可を以てご利用いただけます。行祭事等との確認もごさいますので事前にお問合せをお願い致します。尚、内容により許可をできない場合がございます。ご了承ください。

非営利目的の個人の方でも、撮影時は参拝者に十分ご配慮のうえ撮影を行ってください。また、

写真等を不特定多数の方がご覧になられる場合はプライバシーにご配慮ください。※但し、堂内や法会中は、許可者以外の撮影をご遠慮いたしております。

◎ 報道関係の皆様へ

當山への取材、ロケーション使用依頼・掲載や画像使用につきましては、事故やトラブル防止のため、事前のお問合せをお願い致します。

◆ お知らせ

檀信徒様はじめ、参詣の皆様は長年ご愛顧頂きました「甘味処 八琴庵」につきまして、誠に申し訳ございませんが平成三十一年二月五日の営業をもちまして営業終了とさせて頂いたいただきます。これまでの皆様からのご支援を心より感謝申し上げます。

講座のご案内

「カレンダー日程と併せてご覧ください」

御詠歌入門講座

「御詠歌未経験者の為の超入門編です。その独特な楽譜の読み方、発声方法、いろは歌などを座学と実践で学びます。年途中でも安心してご参加ください。初歩から懇切丁寧にご指導いたします。

講師 鈴木智弘
場所 光明殿
時間 十四時～十六時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 無料

御詠歌勉強会

日程 三月三十一日、五月二十六日
場所 光明殿(大ホール)
時間 九時～十三時三十分
申込 不要(既講座参加者対象)

遊翠の心 きもの装い「初級・応用」

初級は初めて着物を装う方に、着物の『事始め』として。応用では、着物での立ち居振る舞いに触れ、自然な美しさを身に付けましょう。

講師 竹翠亭
場所 大書院

時間 初級/十時～十二時
応用/十三時～十五時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
年間申込
支具料 二千元(呈茶含)

阿息観

密教の修行法として説かれた真言宗に伝わる瞑想法です。リラックスしながら吐く息・吸う息に意識を向け、呼吸のはじまりの音、この宇宙を表す「阿」をのせてゆきます。

講師 杉浦宣秀
場所 大書院(三月十三日、四月二十日、六月三十日 奥之院)

時間 十四時～十六時
申込締切 不要(当日受付)
支具料 無料

遊翠の心 写経

修行のひとつとされる「写経」。一文字一文字に仏さまとして向き合います。ひと筆ずつ文字をしたためる時間の中で、自身の心を見つめましょう。

講師 西山海良
場所 竹翠亭
時間 十時～十二時・十四時～十六時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 千五百円(呈茶含)

遊翠の心 茶の古典を読む

「茶の湯」という体感して身につける文化にも、その精神を築き上げてきた古典の名著があります。岡倉天心「茶の本」や千利休「利休百首」などを取り上げ、書物から茶の世界の核心に触れていきます。

講師 榊田英伸
場所 耕雲亭(入口/竹翠亭)
時間 十時～十二時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 千五百円(呈茶含)

仏典読み解き講座

本年も平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要集』を読みます。専門的な内容ですが、資料を配布して、かみ砕いてお話しします。昔の人の求めた救いに肉薄できる、知的興奮に満ちた講座です。

講師 榊田英伸
場所 普照殿 華宮
時間 十時～十二時
申込 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 無料

写経写仏はじめて講座

「写仏」とは、仏さまのお姿を描き写す修行のひとつ。心静かに筆をはこび向かい合うことで、無心無私となる時間のなかで自身の心を見つめます。時間内のお好きな時にお越しください。写経と写仏をお選びいただけます。はじめての方にもわかりやすく僧侶が写経の方法をお教えします。(はじめての方は十一時よりご参加ください。)

講師 榊田英伸
場所 光明殿
時間 十一時～十四時
申込 不要(時間内参加随意)
支具料 千円

TERA・YOGA

マルシェ開催日限定のヨガ教室。ヨガの基本を優しくレッスンします。一回だけでも続けて受けても、興正寺の和風庭園を眺めながら、ぜひ気軽にヨガを体験してみてください。

講師 西口のぞみ
場所 大書院(受付 普照殿受付)
時間 レギュラークラス
十時～十一時三十分
マタニティクラス
十三時～十四時三十分
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 二千元

遊翠の心 水墨画

基本の筆運びから学び、色紙に作品を描きます。興正寺境内の茶室 竹翠亭の襖絵を描いていただいた、山田大作氏の令夫人で水墨画家の山田静舟氏より学びます。※道具購入は要相談にて

講師 山田静舟
場所 大書院
時間 十四時～十六時
申込締切 要(事前問合せ)
支具料 二千元(呈茶含)

遊翠の心 日々折々の書

「浮かし書き」の基礎講座です。浮かし書きは、書本来の筆法で、料紙を手を持って書きます。徐々に自分のリズムと向き合う心になつきます。※道具購入は要相談にて

講師 中村均
場所 竹翠亭
時間 十時～十二時
申込締切 要(事前問合せ)
支具料 二千元(呈茶含)

遊翠の心 阿息観

「阿息観」は真言宗に伝わる瞑想法で、僧侶が気持ちを整えるために行っておりました。呼吸の仕方から座り方など基本動作を学び、瞑想法を体験いただきます。

講師 西山海良
場所 竹翠亭
時間 十時～十二時・十四時～十六時

申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 千五百円(呈茶含)

仏教入門講座

気軽に仏教を学びたい方向けの講座です。お経を紐解きながら仏教の在り方を時事問題に照らしながら考察する。脱線話もあり、仏教は初めてという方も安心です。

講師 森田泰澄
場所 普照殿 華宮
時間 十四時～十六時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 無料

遊翠の心 茶の扉「春」

茶道と煎茶道に親しみ、客作法を学ぶ講座です。茶の湯二回・煎茶一回(いずれも客作法)の全三回。

講師 竹翠亭
場所 竹翠亭
時間 十時～十二時/十四時～十六時
申込締切 要(公式サイトまなびの講座より)
支具料 二千元



3月

[弥生]

御縁日[毎月]

5日 10時……大随求明王[露店あり]
 8日 12時30分…大日如来
 13日 10時……虚空蔵菩薩[露店あり]
 15日 13時……阿弥陀如来

18日 13時……観世音菩薩
 21日 10時30分…弘法大師[興正寺マルシェ]
 24日 13時……地藏菩薩
 28日 14時……不動明王

月	火	水	木	金	土	日
				1 先勝	2 友引	3 先負
					戌の日 安産合同祈禱会 御詠歌入門講座	祥月忌合同供養会 [雲霧堂・佐羅陀浄苑・道那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂・天璣いずみの会]
					普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	普門園休園日[竹翠亭舎]
4 仏滅	5 大安 縁日 大随求明王 [露店あり]	6 赤口 準世代祥月忌 遊翠の心 きもの装い [初級・応用] 名古屋市 自動車図書館巡回	7 友引 遊翠の心 茶の古典を読む	8 先負 縁日 大日如来 結婚式前撮り	9 仏滅 源をたどる布薩・ 一日修養会①	10 大安 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天璣いずみの会] 阿息観
					普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	普門園休園日[竹翠亭舎]
11 赤口 宗偏流 名古屋支部支部会	12 先勝 十二世祥月忌 遊翠の心 写経	13 友引 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり]	14 先負 開山忌 開山忌記念茶会 戌の日 安産合同祈禱会	15 仏滅 縁日 阿弥陀如来	16 大安 御詠歌入門講座	17 赤口 涅槃会 八代流 華展
普門園休園日[竹翠亭舎]					普門園休園日[竹翠亭舎]	普門園休園日[竹翠亭舎]
18 先勝 縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座	19 友引	20 先負	21 仏滅 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 月並御影供 写経写仏 はじめて講座 結婚式	22 大安	23 赤口 結婚式	24 先勝 縁日 地藏菩薩
			普門園休園日[竹翠亭舎]		普門園休園日[竹翠亭舎]	
春季彼岸会 [春季彼岸合同供養会]			人形仏具供養会 動物慰霊法会 興正寺施主慰霊法会			永代祠堂法会 (招待制)
25 友引 遊翠の心 日々折々の書	26 先負 戌の日 安産合同祈禱会 遊翠の心 阿息観	27 仏滅 八世祥月忌 子ども寺子屋くらぶ春	28 大安 縁日 不動明王	29 赤口	30 先勝 池口恵観大阿闍梨 大護摩供 阿息観 結婚式	31 友引 第十六回 名古屋ツデー ウォーク(2日目) 御詠歌 勉強会 結婚式
			普門園休園日[竹翠亭舎]		普門園休園日[竹翠亭舎]	普門園休園日[竹翠亭舎]

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、11~18ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



2月

[如月]

御縁日[毎月]

5日 10時……大随求明王[露店あり]
 8日 12時30分…大日如来
 13日 10時……虚空蔵菩薩[露店あり]
 15日 13時……阿弥陀如来

18日 13時……観世音菩薩
 21日 10時30分…弘法大師[興正寺マルシェ]
 24日 13時……地藏菩薩
 28日 14時……不動明王

月	火	水	木	金	土	日
				1 友引	2 先負	3 仏滅
				川名中学校 職業体験	御詠歌入門講座	節分厄除祈禱会 星祭開運祈禱札 想耕茶会[福豆茶席]
4 大安	5 先勝 縁日 大随求明王 [露店あり]	6 友引 戌の日 安産合同祈禱会 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	7 先負 十三世祥月	8 仏滅 縁日 大日如来	9 大安 結婚式	10 赤口 祥月忌合同供養会 [雲霧堂・佐羅陀浄苑・道那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂・天璣いずみの会] 阿息観
普門園休園日[竹翠亭舎]					普門園休園日[竹翠亭舎]	
11 先勝 結婚式	12 友引 遊翠の心 写経	13 先負 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり]	14 仏滅 遊翠の心 茶の古典を読む	15 大安 縁日 阿弥陀如来	16 赤口 御詠歌入門講座	17 先勝 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天璣いずみの会] 中京大学茶道部 卒業茶会
普門園休園日[竹翠亭舎]					普門園休園日[竹翠亭舎]	普門園休園日[竹翠亭舎]
					齊藤勝巳商店 着物展示販売会	
18 友引 縁日 観世音菩薩 戌の日 安産合同祈禱会 仏典読み解き講座 宗偏流 名古屋支部支部会	19 先負 阿息観	20 仏滅 阿息観	21 大安 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA	22 赤口 遊翠の心 きもの装い [応用] 遊翠の心 水墨画 結婚式前撮り	23 先勝 結婚式	24 友引 縁日 地藏菩薩 結婚式
		普門園休園日[竹翠亭舎]			普門園休園日[竹翠亭舎]	普門園休園日[竹翠亭舎]
25 先負 遊翠の心 日々折々の書	26 仏滅 十四世祥月忌 遊翠の心 阿息観	27 大安 結婚式前撮り	28 赤口 縁日 不動明王 仏教入門講座 御詠歌大会 結婚式前撮り			
			普門園休園日[竹翠亭舎]			

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、11~18ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



5月

[皐月]

御縁日[毎月]

5日 10時…… 大随求明王[露店あり]
 8日 12時30分… 大日如来
 13日 10時…… 虚空蔵菩薩[露店あり]
 15日 13時…… 阿弥陀如来

18日 13時…… 観世音菩薩
 21日 10時30分… 弘法大師[興正寺マルシェ]
 24日 13時…… 地藏菩薩
 28日 14時…… 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
		1 大安 戌の日 安産合同祈禱会 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	2 赤口	3 先勝 普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	4 友引 祥月忌合同供養会 [雲霧堂・佐羅陀浄苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂・天瑞いずみの会] 御詠歌入門講座 普門園休園日[竹翠亭舎]	5 仏滅 縁日 大随求明王 [露店あり] 大般若経転読祈禱会 和と輪と話 普門園休園日[竹翠亭舎]
6 大安 普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	7 赤口	8 先勝 縁日一大日如来 遊翠の心 茶の古典を読む	9 友引 普門園休園日[竹翠亭舎]	10 先負 阿息観 想耕茶会	11 仏滅 花まつり 祥月忌合同供養会 [雲霧堂・圓照堂・ 天瑞いずみの会] 普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	12 大安
13 赤口 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 戌の日 安産合同祈禱会 同行永代経	14 先勝 遊翠の心 写経	15 友引 縁日 阿弥陀如来	16 先負	17 仏滅	18 大安 縁日 観世音菩薩 御詠歌入門講座 普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	19 赤口
20 先勝 阿息観	21 友引 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA 普門園休園日[竹翠亭舎] 夏安居	22 先負	23 仏滅	24 大安 縁日 地藏菩薩 仏典読み解き講座 遊翠の心 水墨画	25 赤口 戌の日 安産合同祈禱会 普門園休園日[竹翠亭舎] 結婚式	26 先勝 御詠歌 勉強会 普門園休園日[竹翠亭舎]
27 友引 遊翠の心 日々折々の書 夏安居	28 先負 縁日 不動明王 遊翠の心 阿息観	29 仏滅 いのちの修行 一日体験① 遊翠の心 茶の扉 [春②]	30 大安 仏教入門講座 阿息観	31 赤口		

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、11~18ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



4月

[卯月]

御縁日[毎月]

5日 10時…… 大随求明王[露店あり]
 8日 12時30分… 大日如来
 13日 10時…… 虚空蔵菩薩[露店あり]
 15日 13時…… 阿弥陀如来

18日 13時…… 観世音菩薩
 21日 10時30分… 弘法大師[興正寺マルシェ]
 24日 13時…… 地藏菩薩
 28日 14時…… 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
1 先負 十五世祥月忌 二十一大師霊場会 先師忌法会	2 仏滅	3 大安 遊翠の心 きもの装い [初級・応用] 結婚式前撮り	4 赤口 高野山真言宗 東海ブロック支所 協議会	5 先負 縁日 大随求明王 [露店あり]	6 仏滅 御詠歌入門講座 結婚式 普門園休園日[竹翠亭舎]	7 大安 祥月忌合同供養会 [雲霧堂・佐羅陀浄苑・遮那 奏苑・永代経・永代納骨・ 圓照堂・天瑞いずみの会] 戌の日 安産合同祈禱会 宗偏流流祖忌茶会 普門園休園日[竹翠亭舎]
8 赤口 縁日 大日如来 大日堂大祭 華曼茶羅会 普門園休園日[竹翠亭舎]	9 先勝 遊翠の心 写経	10 友引 阿息観 茶の湯体験[企業]	11 先負 遊翠の心 茶の古典を読む	12 仏滅	13 大安 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 十三参りの日	14 赤口 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天瑞いずみの会] 結婚式 普門園休園日[竹翠亭舎]
15 先勝 縁日 阿弥陀如来 普門園休園日[竹翠亭舎]	16 友引	17 先負	18 仏滅 縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座	19 大安 戌の日 安産合同祈禱会 普門園休園日[竹翠亭舎]	20 赤口 興正寺月釜 源をたどる布薩・ 一日修養会② 阿息観 御詠歌入門講座 普門園休園日[竹翠亭舎] 宝山流 華展	21 先勝 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 普門園休園日[竹翠亭舎]
22 友引 十七世祥月 遊翠の心 日々折々の書	23 先負 四世祥月 遊翠の心 阿息観	24 仏滅 縁日 地藏菩薩 遊翠の心 茶の扉 [春①]	25 大安 御正当 仏教入門講座 普門園休園日[竹翠亭舎]	26 赤口 遊翠の心 水墨画 茶の湯体験[企業]	27 先勝 十三参りの日 駅ちかウォーキング 2019 SPRING	28 友引 縁日 不動明王 団体参拜 [奈良・河内 いにしへの 律寺と花を巡る旅] 結婚式 普門園休園日[竹翠亭舎]
29 先負 結婚式 普門園休園日[竹翠亭舎]	30 仏滅 阿息観					

※赤文字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、11~18ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。



御縁日[毎月]

5日 10時…… 大随求明王[露店あり]
 8日 12時30分… 大日如来
 13日 10時…… 虚空蔵菩薩[露店あり]
 15日 13時…… 阿弥陀如来

18日 13時…… 観世音菩薩
 21日 10時30分… 弘法大師[興正寺マルシェ]
 24日 13時…… 地藏菩薩
 28日 14時…… 不動明王

月	火	水	木	金	土	日
					1 先勝 御詠歌入門講座 結婚式 普門園休園日[竹翠亭含] 夏安居	2 友引 祥月忌合同供養会 [靈龜堂・圓照堂・依羅陀淨苑・遮那奏苑・永代経・永代納骨・天瑞いずみの会] 結婚式
3 大安 普門園休園日[竹翠亭含] 夏安居	4 赤口	5 先勝 縁日 大随求明王 [露店あり] 不動護摩堂 特別祈禱会 遊翠の心 きもの装い [初級・応用]	6 友引 戌の日 安産合同祈禱会 遊翠の心 茶の古典を読む	7 先負	8 仏滅 縁日 大日如来 普門園休園日[竹翠亭含] 結婚式	9 大安 祥月忌合同供養会 [圓照堂・天瑞いずみの会] 普門園休園日[竹翠亭含]
10 赤口 五世祥月忌 夏安居	11 先勝 十六世祥月忌 遊翠の心 写経 夏の宝物展	12 友引	13 先負 縁日 虚空蔵菩薩 [露店あり] 不動護摩堂 特別祈禱会	14 仏滅	15 大安 縁日 阿弥陀如来 十世祥月忌 興正寺月釜 御詠歌入門講座 普門園休園日[竹翠亭含]	16 赤口
17 先勝 夏安居	18 友引 縁日 観世音菩薩 戌の日 安産合同祈禱会 仏典読み解き講座	19 先負	20 仏滅 阿息観 普門園休園日[竹翠亭含]	21 大安 縁日 弘法大師 [興正寺マルシェ] 月並御影供 マルシェ茶席 写経写仏 はじめて講座 TERA-YOGA	22 赤口 普門園休園日[竹翠亭含]	23 先勝 中京大学茶道部茶会 若竹茶会 普門園休園日[竹翠亭含]
24 友引 縁日 地藏菩薩 遊翠の心 日々折々の書 夏安居	25 先負 遊翠の心 阿息観	26 仏滅 遊翠の心 茶の扉 [春●]	27 大安 仏教入門講座 普門園休園日[竹翠亭含]	28 赤口 縁日 不動明王 遊翠の心 水墨画	29 先勝 結婚式 普門園休園日[竹翠亭含]	30 友引 戌の日 安産合同祈禱会 阿息観 結婚式 普門園休園日[竹翠亭含]

※赤字(行事)、緑色文字(講座)の詳細は、11~18ページでご紹介しています。

※都合により変更となる場合がございます。随時、公式サイトにてお知らせ致します。
 ※各講座の詳細・ご予約は公式サイト内『まなびの講座』よりご確認ください。